

《四日市市版情報活用能力体系表》

1. 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能

分類		ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	観点	
学習内容	小項目	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校		
基本的な操作	A1	入力の基本技能	ID、パスワード等の入力ができる	文字入力ができる (40文字以上/1分間)	文字入力ができる (60文字以上/1分間)	文字入力ができる (80文字以上/1分間)	知識・技能
	A2	情報機器の基本的操作	起動・シャットダウン、ログイン・ログアウト、写真・動画の撮影、音声の記録	入力モード切替、数値入力、ローマ字入力、切り取り、コピー、貼り付け			
	A3	アプリケーション等の使用・操作技能	学習支援アプリを選択・操作できる	オフィス系アプリを選択・操作できる	目的に応じてアプリを選択・操作できる	目的に応じて適切にアプリを選択・操作できる	
	A4	検索に係る技能	キーワード検索ができる	＋、－などの論理演算子を用いた検索ができる	AND、ORなどの論理演算子を用いた検索ができる	目的に応じて適切に検索できる	
	A5	ファイルの呼び出し、保存に係る技能	ファイルの呼び出し、保存ができる	ファイルの検索ができる	ファイルやフォルダの管理ができる (保存場所の選択、移動、コピー、削除等)	ファイルやフォルダの操作ができる (圧縮、暗号化等)	
プログラミング	C1	記号の組み合わせ方の理解	事象を分解したり、組み合わせたりすることがわかる	繰り返し、条件分岐、データや変数を含んだプログラムが理解できる	意図した処理を行うためのプログラムを作成できる	問題発見・解決のための安全・適切なプログラムの製作、動作の確認及びデバッグ等ができる	知識・技能
	C2	手順を設計する技能	手順を順序立てることができる	手順を図示する方法がわかる	フローチャート等による手順の表現方法が理解できる	アクティビティ図等の統一モデリング言語によるアルゴリズムの表現方法が理解できる	

2. 問題解決・探究における情報活用の方法の理解

分類		ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	観点	
学習内容	小項目	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校		
問題解決・探究における情報活用	B1	見通し・計画	情報活用の見通しをもてる	目的を意識して、情報活用の計画を立案できる	問題解決に向け、情報活用の計画を立案できる	問題解決に向け、グループ内での役割分担を考えて情報活用の計画を立案できる	知識・技能
	B2	情報収集	身近なところから情報を収集できる	調査や資料等により情報を収集できる	調査を設計し、情報を適切に収集できる	統計的な調査を設計し、情報を効果的に収集できる	
	B3	整理	絵や図、簡単な表等を用いて情報を整理できる	表やグラフ等を用いて情報を整理できる	目的に応じて、適切な表やグラフを用いて情報を整理できる	目的に応じて、適切な表やグラフを用いて情報を統計的に整理できる	
	B4	取捨選択	課題解決に役立つ情報を選ぶことができる	課題解決に役立つ情報を選んだ根拠を説明することができる	信頼性や信憑性を考えて情報を取捨選択することができる	重要度や代表性を考えて情報を階層化することができる	思考力・判断力・表現力等
	B5	分析・読み取り	一つの資料から視点を持って情報を読み取ることができる	複数の資料から傾向や変化を読み取ることができる	複数の情報から共通・相違点を見つけることができる	複数の情報から矛盾点や欠けている情報を見つけることができる	
	B6	表現・発信	目的を意識して表現し、情報の発信・受信ができる	相手や目的を意識して表現し、安全に情報の発信・受信ができる	相手や目的に応じて表現し、適切に情報の発信・受信ができる	相手や目的に応じて表現を工夫し、メディアを組み合わせる効果的に情報の発信・受信ができる	
	B7	評価・改善	情報活用を振り返り、よさを確かめることができる	情報活用を振り返り、改善点を見いだすことができる	情報活用を振り返り、改善点や効果を見いだすことができる	情報活用を振り返り、観点を決めて適切に評価し、改善することができる	

3. 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解

分類		ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	観点	
学習内容	小項目	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校		
情報モラル・情報セキュリティ	D1	情報モラルなどについての理解	人の作ったものを大切にすることや他者に伝えてはいけない情報があることがわかる	自他の情報の大切さが理解できる	情報に関する自他の権利が理解できる	情報に関する個人の権利と重要性が理解できる	知識・技能
	D2	情報セキュリティについての理解	ID、パスワード等の安全管理について理解することができる	なりすましやウイルス等の危険性を理解することができる	情報セキュリティの重要性を理解することができる	情報セキュリティを確保するための方法を理解し、活用することができる	

4. 問題解決・探究における情報活用を活用する力

分類		ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	観点	
学習内容	小項目	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校		
問題解決・探究における情報活用	B8	情報を客観的に捉え、分析、判断する力(批判的思考)	事実や根拠に基づき、分析・判断できる	複数の事実や根拠に基づき、適切に分析・判断できる	複数の事実や根拠に基づき、客観的に分析・判断できる	できるだけ多くの事実や根拠に基づき、論理的・多角的に分析・判断できる	思考力・判断力・表現力等
	B9	情報を結びつけて新たな意味を見いだす力(創造的思考)	情報から分かったことをまとめられる	情報を比較したり、関連付けたりして新たな意味を見いだすことができる	得られた情報について客観的に考察し、新たな意味を見いだすことができる	目的に応じて収集した情報を、論理的・多角的に考察し、新たな意味を見いだすことができる	
	B10	情報を結びつけて新たな意味を見いだす力(生成AI)	生成AIの存在を知っている。		生成AIが誤りを含む回答を生成することがあることを知っている。	生成AIを使ったアイデア出しや、自ら作った文章の推敲の補助として使ったり、適切なファクトチェックを行うことができる。	
プログラミング	C3	情報の分解・分類	情報を分けて捉え、決められた観点に分類・整理できる	手順を組み合わせて表現したり、表やグラフを用いて情報を整理したりできる	目的に応じて、自ら観点を考えて情報を分類・整理できる	物事を全体のシステムで捉えたり、情報の属性を意識して構造的に捉えたりすることができる	
	C4	情報の関連付け	情報の大体を捉え、自分の言葉でまとめることができる	情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉えることができる	情報の傾向と変化を捉え、解決策を考察することができる	情報の傾向と変化を捉え、多様な解決策を考察することができる	
	C5	問題解決の手順	問題解決の流れを手順に表すことができる	問題解決の手続きを順序、繰り返し、分岐を組み合わせて表現できる	問題解決の手続きをフローチャート等を用いて表現できる	問題解決の手続きをアクティビティ図等を用いてモデル化できる	
情報モラル・情報セキュリティ	D3	情報モラルに配慮し、情報を活用する力(ルール・マナー)	インターネット上のルールやマナーの必要性を考慮することができる	インターネット上にある情報等が正しいかどうかを判断することができる	ルールやマナーの重要性を考え、他者と協働してつくることができる	ルールやマナーを遵守・創造することができる	
	D4	情報モラルに配慮し、情報を活用する力(個人情報)	自他の情報や作品を大切ににする	個人情報保護の大切さを知り、著作権や肖像権に留意して情報を扱う	SNS等での情報の送受信に伴い発生する問題について、適切な対応ができる	情報の保護や取扱いに関する法律に基づき、他人や社会への影響を考慮して適切に管理できる	
	D5	情報セキュリティに配慮し、情報を活用する力	ID、パスワード等を安全に管理できる	不審なメール、迷惑メール等に適切に対処できる	自他の情報のセキュリティ管理について、その危険性を考え、適切に判断できる	目的に応じてアプリやインターネット上のサービス等を安全に活用できる	

5. 問題解決・探究における情報活用 の態度

分類		ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	観点
学習内容	小項目	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校	
問題解決・探究における情報活用	B11	多角的に情報を検討しようとする態度	事実と関係する情報を見つけようとする	情報同士のつながりを見つけようとする	情報を構造的に捉えようとする	事実と情報をその結び付きの視点から捉えようとする
	B12	試行錯誤し、計画や改善しようとする態度	情報を複数の視点から捉えようとする	新たな視点を受け入れて検討しようとする	物事や情報を批判的に考察しようとする	物事や情報を批判的に考察し、判断しようとする
	B13		問題解決における情報の大切さを意識して行動しようとする	目的に応じて情報活用の見通しを立てようとする	複数の視点を想定して計画しようとする	条件を踏まえて情報活用の計画を立てたり、試行したりしようとする
	B14	情報活用を振り返り、よさを見つけようとする	情報活用を振り返り、改善点を見いだそうとする	情報活用を振り返り、効果や改善点を見いだそうとする	情報活用を振り返り、観点を決めて適切に評価・改善しようとする	
プログラミング	C6	改善しようとする態度	うまくいかない時に繰り返し取り組もうとする	試作などにより、プログラムの改善策を見いだそうとする	試作などにより、プログラミングによる問題解決の方策を見いだそうとする	効率化の観点から、プログラミングによる問題解決を最適化しようとする
	C7	よりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度	プログラミングによる学びを生活の中で使おうとする	プログラミングによる学びを生活に活かそうとする	プログラミングによる学びをよりよい生活や社会づくりに活かそうとする	プログラミングによる学びをよりよい生活や持続可能な社会づくりに活かそうとする

6. 情報モラル・情報セキュリティなどについての態度

分類		ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	観点
学習内容	小項目	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校	
情報モラル・情報セキュリティ	C8	責任をもって適切に情報を扱おうとする態度	コンピュータ等を利用するときの基本的なルールを踏まえて行動しようとする	情報のやりとりをする場合のルールやマナーを踏まえて行動しようとする	通信ネットワーク上のルールやマナーを踏まえて行動しようとする	社会は互いに法律やマナー等を守ることによって成り立っていることを踏まえて行動しようとする
	C9	情報社会に参画しようとする態度	情報や情報技術を適切に使おうとする	情報や情報技術を生活に活かそうとする	情報や情報技術をよりよい生活や社会づくりに活かそうとする	情報や情報技術をよりよい生活や持続可能な社会づくりに活かそうとする

参考：文部科学省「学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力の育成（体系表列とカリキュラム・マネジメントモデルの活用）」